

様式第2号（第3条関係）

行政視察等報告書

令和7年2月28日

米子市議会議員様

（会派の場合）

会派名 公明党議員団

代表者氏名 今城 雅子

提出者氏名 矢田貝 香織

（議員の場合）

議員名



（印）

下記のとおり報告します。

記

項 目	☐ 現地調査 ☒ 行政視察 ☐ 要請・陳情活動 ☐ 研修会への参加 ☐ 会議への参加
参 加 者	今城雅子、津田幸一、徳田博文、矢田貝香織
期 日	令和7年2月18日から令和7年2月19日まで
〔概 要〕（年月日・場所・内容） 令和7年2月18日・香川県高松市・スマートシティ高松推進事業について 令和7年2月19日・香川県三豊市・こどもの居場所づくり・こども食堂につい て	
〔所 感〕 別紙のとおり	
経 費	旅 費 @ 31,320円×4人 = 125,280円 取扱手数料@ 1,375円×4人 = 5,500円 土産代（2か所） = 5,551円 合 計 136,331円

（注）氏名を自署する場合は、押印を省略することができる。

別 紙

香川県高松市

「スマートシティ高松」推進事業について

【日 時】令和7年2月18日（火） 13:30～15:00

【場 所】香川県高松市役所

【説明者】デジタル推進部 横 山 光 弘デジタル戦略課長

【調査概要】

1 スマートシティたかまつ

- (1) 取り組みの経緯は、平成28年にG7が香川・高松情報通信大臣会合が開かれて、スマートシティを行うこととなった。
- (2) 平成31年3月に「スマートシティたかまつ推進プラン」を策定した。現在では第2ステージの「スマートシティたかまつ」推進プラン（2022～2024）で市民全員がデジタル技術を活用でき、社会全体のDXを進めることで誰もが、どこからでも利便性を享受できる「スマートシティたかまつ」実現に向け、取組を進めている。
- (3) IOT共通プラットフォームファイウェアを使用しており、これはヨーロッパの官民連携プロジェクトで開発されたオープンソースの基盤である。ファイウェアのソフトウェアを組み合わせることで、様々な機能を実装することができる。特に大雨では、潮位センサーからなどから取得するリアルタイムな情報を多様なデータを集約し、防災で役立てている。
- (4) 市民にも有用な情報であり、オープンデータとしても公開をしている。またIOTプラットフォームでは、本番環境の他に産学民官の多様な主体が自由にデータを利活用できる環境として、実証環境も構築をしている。

2 各分野における取り組み

- (1) 高松市は防災分野では、日本の中で災害の発生が比較的少なく、市職員が災害対応の経験を積んでいないことや、悪条件が重なると都市機能と海との近さが仇となり、広範囲に被害が発生する危険性がある。
- (2) 観光分野では中心市街地が平坦であり、自転車を利用しやすい条件が揃っていることや、市が運営するレンタサイクル事業を活用し、大きなコストをかけずに観光客のデータを収集できる。
- (3) 防災分野において収集・利活用するデータは、リアルタイム情報等では水位・潮位センサー、想定図等（地図情報）、県防災情報との連携。避難所の安全情報では、スマートメーター、スマートフォンアプリ。データの可視化ではスマートマップ、職員向けダッシュボードがあげられる。
- (4) 防災分野の広域展開では、災害時に広域で迅速に情報を共有でき、この取組が評価され、令和3年度に「情報通信月間」総務大臣表彰を受賞した。
- (5) 観光分野におけるデータ利活用事例では、レンタサイクルの利用動態から特に、外国人観光客の動態を分析し、施策展開に活用した。

3 産学民官連携の仕組み

- (1) スマートシティたかまつ推進協議会の設立については、IOT共通プラットフォームを活用した官民データの収集・分析による地域課題の解決を目指し、スマートシティたかまつ推進協議会を設立。
- (2) 協議会内に各分野にワーキンググループを組成し、産学民官が連携して課題の整理から始め、実証事業を重ねながら、社会実装を目指した取組を進め、協議会として市民向けのシンポジウムや人材育成講座の開催など、普及啓発活動を実施している。

4 その他の取り組み

- (1) デジタルデバйд対策事業では、地域コミュニティ協議会が、地域の実情に応じて ICT を活用した取組や、デジタルデバйд解消に向けた各種の取組を実施できる体制を構築し、円滑な活動をサポートしている。教えられる側の人々がスキルアップして教える側に移行している。
- (2) FACT（フリーアドレスシティたかまつ）、「高松DAPPY」があり、DAPPY は脱皮で「スーパーシティ」構想への提案を目指し、前例や現行制度、組織の縦割りにとらわれず、迅速に庁内横断的な検討を行うため、高松市スーパーシティ準備チームを設置した。

5 主な質疑

- Q1：タブレットやスマートフォンを使用するための Wi-Fi 環境整備の考え方と支援策について。
- A1：高松市の施設によっては、県と市が提供している Wi-Fi を利用しているところもあり、ほとんどはそれ以外の民間の通信事業者のサービスを利用している。高松市として自由施設に公衆無線 LAN の一元的な保守管理運用について現在は行っていない。
- Q2：データ管理や個人情報の取り扱いなどのセキュリティ、その管理体制について。
- A2：基本方針、対策基準について策定をしている。また、職員が行うべき具体的な手順については、セキュリティ運用ガイドを作成しており、例えば情報セキュリティ責任者を市長にしており、インシデントがあった場合の報告について組織体制を定めている。職員に対してはセキュリティ研修を全職員に対して、ウェブ形式であるが研修を実施している。ランサムウェアに対応できる研修の実施。

6 所感

- (1) 各分野におけるデジタル推進と市民全員が、どこからでも利便性を享受できることを目指す取り組みであった。
- (2) 6 企業団体で観光と防災からの取り組みは現在、会員数 157 者である。
- (3) 産学民官連携の推進協議会内に分野ごとのワーキンググループを組成している。
- (4) 高松市では課題整理、実証事業、社会実装を目指している。
- (5) 特に災害分野の活用については、過去に取組が評価され令和 3 年度に「情報通信月間」

総務大臣表彰を受賞されるほどであり、素晴らしいと感心した。

- (6) 市民参加型としてシンポジウムや人材育成講座、スマホ教室も事業化されており、高松市の熱い思いを感じた。

香川県三豊市

「こどもの居場所づくり・こども食堂」について

【日 時】令和7年2月19日（水） 9：30～11：30

【場 所】香川県三豊市役所

【説明者】健康福祉部 田 中 昌 和 部長

子育て支援課 千 代 小裕美 課長

富 田 拓 也 課長補佐

細 川 莉 紗 副主任

【調査概要】

1 子育て支援体制について

- (1) 平成20年に子育て支援にかかる事業をひとつに集約し、ワンストップで業務を実施することを目的に、健康福祉部内に子育て支援課が設置され、保育所ケアで児童扶養手当、こども子育て支援、こどもの予防接種などの業務を一つの課でワンストップでの実施体制とした。
- (2) 平成30年に子育て支援課題の保育所業務と教育委員会事務局の幼稚園業務と合わせて保育幼稚園課を新設。
- (3) 現在、健康福祉部には5つの課があり、健康課で実施している子供医療や医療など医療に関するものを除き、市役所本庁3階で子育て支援に関わる業務を実施する体制としている。
- (4) みとよすくすく子育てサポートランⅡと第2期みとよ子ども未来応援計画があり、計画に基づき子ども子供子育てにかかる施策に取り組んでいる。
- (5) みとよすくすく子育てサポートランⅡは、次世代育成支援行動計画と子ども子育て支援事業計画を兼ねた計画であり、令和6年度をもって計画期間が終了することから現在、みとよすくすく子育てサポートランⅡを改定する形で計画を策定中。

2 こどもの居場所づくり

- (1) 第2期みとよ子ども未来応援計画は子どもの貧困対策に関する計画となっており、子どもの居場所づくり事業については生活支援策の一つになっている。

① こどもの居場所の考え方と三豊市の取り組み方針について

「こどもの居場所」は食事の提供や学習支援、多世代交流、体験活動などによって孤立や孤食を防止し、地域の大人たちとの交流を通してこどもたちが自分らしく過ごすことができる場所とされており、三豊市では地域のNPOなどの団体が取り組みを実施。

- ② こどもの居場所づくり事業は、地域でこどもの居場所づくり事業を実施する団体が安定的な運営ができるよう活動を支援。また、個人や団体、支援を支えるための活動に関心のある企業などをつなげるネットワークの構築を推進。
- ③ こどもの居場所づくり活動助成金事業の運営については、開始当初の令和2年度から市社会福祉協議会に委託しており、今年度が事業開始から5年目。
- (2) 各「こどもの居場所」が取り組む支援事業と食事・食材の提供の現状について
 - ① 三豊市では12所でこどものイベントが実施されており、主に食事の提供や体験活動、学習支援、居場所の提供などを行なっている。現在12箇所のうち9ヶ所が食事や食材の提供等を行っている。
- (3) 「こどもの居場所」応援会員と具体的な応援内容について
 - ① 令和6年に応援会員として申し出ていただいた、個人企業などは17団体。応援内容については、主に食品提供が中心で農家からの野菜や果物等の提供や、企業からの日用品などの寄付もある。
- (4) 「こどもの居場所」の立ち上げ支援（地域活動応援事業）の助成内容・財源・実績等について
 - ① 令和6年度の新規相談件数は2件。地域活動応援事業の助成を受けた団体は計8件となっており、こどもの居場所づくり事業が開始された翌年の令和3年度に助成を受けて立ち上がった団体が多い。
 - ② 立ち上げの相談については、社会福祉協議会が窓口となり、事業内容や注意が必要な点などの相談に対応。また、事業開始時に物品購入などを行う場合には、赤い羽共同募金助成事業を活用し、居場所づくり活動立ち上げ準備経費として20万円以内の助成を実施している。
- (5) 事業評価と今後の展望について
 - ① 定期的に各居場所で活動ができており、不登校の子供の居場所となっている居場所もあることから、学校関係からの理解も進み、ここ数年で事業の展開が進んだと感じている。
 - ② こどもたちを取り巻く環境が目まぐるしく変わる中、今後も地域で子供たちの見守り育てることができるよう、ボランティアや民間団体などが主体的に運営するこどもの居場所づくりの支援を推進し、こども食堂などの居場所のこどもが集まる場所だけの提供だけでなく、学習支援や多世代交流を行うことで、子供の健全な育成の推進を図る。
 - ③ 貧困や引きこもり、児童虐待などの問題を抱えた子供やその家庭の支援を行える関係機関へとつなぎを求めている。

3 こども食堂について

(1) フードリボンプロジェクト

こどもたちが当たり前にご飯を食べられる場所を作りたいという思いで一般社団法人ロングスプーン協会が立ち上げたプロジェクトで、その思いに賛同するフードリボン参加店の利用者がフードリボンを購入し、子どもたちがリボンを手にすることで、その店

で1食分の食事ができる仕組み。

4 主な質疑

Q1:「こどもの居場所づくり」の取組を社会福祉協議会に委託した背景とねらい。また、委託したことでの効果・課題について。

A1:社会福祉協議会に委託した背景として三豊市が実施する子育て支援に関する事業委託の実績があったこと。三豊市社会福祉協議会が実施するフードバンク事業や地域活動応援事業等で、地域で活動する個人・団体と関わりがあった。効果は相談対応、各居場所訪問等できめ細かい対応ができています。三豊市とこどもの居場所の運営者との関係性やつながりが希薄となっていることが課題。

Q2:「こどもの居場所」の立ち上げ・取組に、地域の偏りの有無と地域差の解消に向けた考え方と取組について。

A2:三豊市では7町のうち、6町12箇所でこどもの居場所を実施しており、こどもの居場所作りの事業は自主的な活動であることや継続して運営することが望まれることから、地域差解消に向けた積極的な働きかけは行っていない。また、あえて町外の居場所を選択することももいることで保護者や支援者と個別に相談し、つないでいる。

Q3:「こどもの居場所」応援「フードバンク」的な取組について

A3:フードバンクの取り組みは、市社会福祉協議会が実施しており、生活困窮世帯などへ必要に応じ食品配布を行い、継続的な生活支援、家計支援などの関わりも含め対応している。寄付者より使い道をこどもの居場所へと提供された寄付食材物品については、従来のフードバンクとは別に、こどもの居場所づくり事業で活用している。

5 所感

- (1) 三豊市では、市民の自主的な取り組みをあと推ししておられ、体験と多世代交流が充実していた。
- (2) 三豊市では、こどもの居場所づくり事業を社会福祉協議会に委託している。
- (3) 出産子育て応援サービスや総合相談支援など、様々な視点からも意見交換を行うことができた。
- (4) 子育て支援体制については、県との連携で様々なノウハウを持たれている元教員の方を人材として確保しておられた。
- (5) 体験と多世代交流で市民の自主的な取り組みについて、三豊市があと推しをされていた。
- (6) こども・子育て支援に関わる業務をワンストップで実施するための三豊市の体制は共感するものであった。

行政視察行程（会派：公明党議員団 4名）

月 日	行 程	宿 泊 先
2 / 1 8 (火)	7:35 伯耆大山駅 JR 特急やくも 6号 (岡山行) 9:47 岡山駅 JR 快速マリンライナー19号 (高松行) 10:51 高松駅 徒歩 11分 (又はタクシー) 10:54 高松市役所 13:15 【①】 	【昼食】 高松駅周辺
	高松市行政視察 午後1時30分から午後3時00分まで【議会事務局：辻本様】 ☎：087-839-2808 【場 所】高松市役所（香川県高松市番町一丁目8番15号） 【調査項目】「スマートシティ高松」推進事業について	【ホテル】（朝食付） 高松東急 REI ホテル 香川県高松市兵庫町9-9 ☎：087-821-0109
	15:00 高松市役所 徒歩約8分 15:08 ホテル 【②】 	【タクシー】 東讃交通 (0878) 51 - 4949
2 / 1 9 (水)	8:25 ホテル 徒歩約7分 8:50 高松駅 JR 特急しまんと 5号 (高知行) 8:56 多度津駅 JR 予讃線 (観音寺行) 9:15 高瀬駅 (香川県) 徒歩約4分 【③】 	【昼食】 高瀬駅周辺
	三豊市行政視察 午前9時30分から午前11時まで【議会事務局：織田様】 ☎：0875-73-3009 【場 所】三豊市役所（香川県三豊市高瀬町下勝間2373番地1） 【調査項目】「こどもの居場所づくり・こども食堂について」	【④】 
	12:32 三豊市役所 徒歩約4分 13:15 高瀬駅 (香川県) JR 快速サンポート南風リレー号 (高松行) 13:24 坂出駅 JR 快速マリンライナー34号 (岡山行) 14:02 岡山駅 JR 特急やくも 15号 (出雲行) 14:13 (伯耆大山駅) = 米子駅 16:27	

旅費計算表

令和7年2月18日 ～ 令和7年2月19日 (1泊2日)

香川県高松市、三豊市
公明党議員団会派行政視察

月 日	区間	鉄道路線 名	区 間 数 キ ロ メ ー ト	目的地までの キ ロ メ ー ト	運賃	グリーン	急行料金		日 当	宿 泊	料
							特 別	新 幹 線	議員1,500円 随員1,100円	甲 14,800円 10,900円	乙 13,300円 9,800円
2/18	伯耆大山駅～岡山駅	JR	154.3		4,390		2,530		1,500		13,200
(月)	岡山駅～高松駅	JR	71.8								
2/19	高松駅～多度津駅	JR	32.7		1,080				1,500		
(火)	多度津駅～高瀬駅	JR	14.3								
	(用務)										
	高瀬駅～多度津駅	JR	14.3		630						
	多度津駅～坂出駅	JR	11.4								
	坂出駅～岡山駅	JR	50.5		3,960						
	岡山駅～伯耆大山駅	JR	154.3				2,530				
計	議員旅費			31,320	10,060	0	5,060	0	3,000	0	13,200
	随行旅費			0							

出席議員 今城議員、矢田貝議員、津田議員、徳田議員

議員旅費	31,320 × 4名 =	125,280 円
取扱手数料	1,375 × 4名 =	5,500 円
お土産代 (2か所)		5,551 円
合計		136,331 円

- ・積雪による交通障害の心配があり、早めの行動をしたため、高松駅・多度津駅間は個人負担で特急しまんとに乗車した。
- ・帰りの特急やくもは1本早い列車に乗車したため、伯耆大山駅に停車せず、個人負担で米子駅まで乗車した。
- ・米子駅から伯耆大山駅までは、議員の家族が送迎した。